

研究課題名	冠動脈疾患患者の予後に関わる因子の探索的研究
研究の意義・目的	冠動脈疾患（労作性狭心症や急性心筋梗塞など）は、糖尿病などの動脈硬化性基礎疾患を有する患者様において予後に関わる重篤な疾患です。この冠動脈疾患に対する検査や治療は近年確立されてきており、治療法の一つである経皮的冠動脈形成術は本邦でも一般的に受けられるようになってきています。近年では薬剤溶出性ステントなどの登場により、その術後予後は飛躍的に改善されています。しかしながら、高度な石灰化や分岐部（血管の枝分かれ）の病変、入口部（血管の入り口）の病変など未だ予後が悪いとされている病変もあり、これらの病変ではステント再狭窄や心血管イベント（心筋梗塞や不安定狭心症などの発生）が多いとされています。また、冠動脈造影検査の結果、現時点では治療不要とされる程度の病変を有する患者様の中にも光干渉断層法や血管内視鏡検査で得られる所見によっては心血管イベントが多いとされている病変もあります。この研究では、当院で冠動脈疾患の診断、治療をさせて頂いた患者様を対象とし、背景となる基礎疾患、採血や心臓 CT、心臓 MRI など各種検査所見、心臓カテーテル検査所見、経皮的冠動脈形成術施行時の術中所見、慢性期のカテーテル検査所見や外来での検査所見などを解析し、患者様の予後を予測できないか検討することを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後 ～ 2030年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月～2030年3月に大阪公立大学医学部附属病院の循環器内科で、心臓カテーテル検査を受けて頂いた患者様。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 年齢、性別、身長、体重、疾患名、併存疾患、生活歴、嗜好歴、服薬内容 ② 血液検査：末梢血算（白血球数、白血球分画、赤血球数、ヘモグロビン、血小板）、生化学検査（総ビリルビン、AST、ALT、BUN、クレアチニン、尿酸、Na、K、Cl、Ca、P、BNP、トロポニン T、D-dimer、HbA1c、血糖、T-Cho、LDL-C、HDL-C、中性脂肪、脂肪酸分画、リポ蛋白(a)） ③ 胸部レントゲン検査 ④ 12誘導心電図 ⑤ 経胸壁心臓超音波検査（LVdD/Ds、%FS、LVEF、LAD、IVC、TRPG、TMF、E/E'、TAPSE） ⑥ 右心カテーテル検査(圧、心拍出量) ⑦ 胸部造影 CT 検査（心臓 CT を含む） ⑧ 心臓 MRI 検査 ⑨ 心臓カテーテル検査時の所見（冠動脈造影所見、FFRなどの虚血評価指数、血管内超音波所見（IVUS）、光断層干渉法所見（OCT、OFDI）、血管内視鏡所見） ⑩ 経皮的冠動脈形成術の術中所見（冠動脈造影所見、血管内超音波所見（IVUS）、光干渉断層法所見（OCT、OFDI）、血管内視鏡所見）
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院・循環器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院・循環器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 循環器内科学 研究責任者 福田 大受
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。

	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をした くない 場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 循環器内科学 (担当者氏名) 福田 大受 電話番号：(06) 6645-3801 メールアドレス： daiju.fukuda@omu.ac.jp